



IDaaS アップデート情報

学術情報基盤オープンフォーラム2018

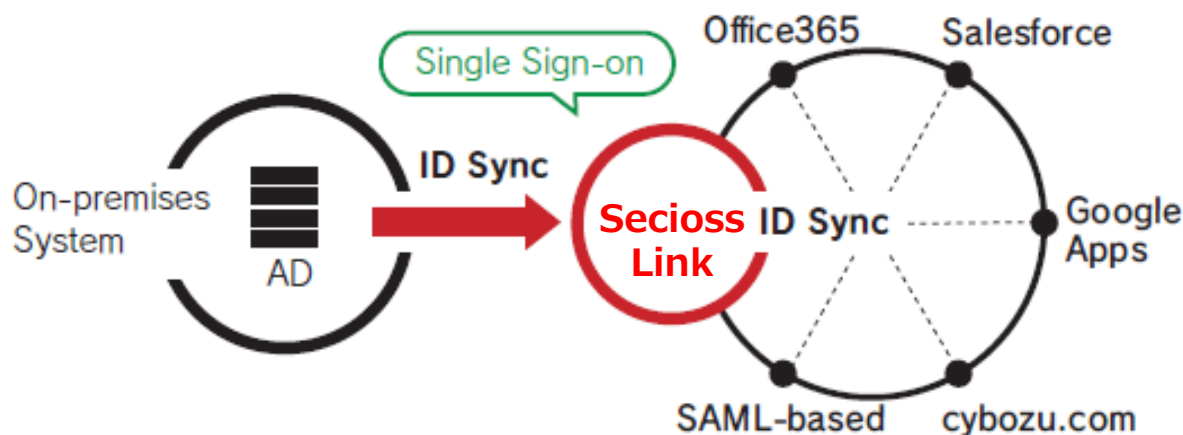
 株式会社セシオス

会社紹介

▲ 株式会社セシオス

設立	2007年5月
資本金	1,300万円
代表取締役	関口 薫
住所	東京都豊島区南池袋2-13-10 3F
事業内容	認証・統合ID管理ソフトウェア サービスの開発、販売 システムインテグレーションサービス

ID as a Service **SeciossLink**



ID連携可能なサービス

G Suite
Office365
cybozu.com
Salesforce
Dropbox
Box
LINEWORKS
Adobe CC

SSO可能なサービス

学認
ID連携対応サービス
SAML対応サービス
SAML未対応サービス
リバースプロキシ方式連携
Agent 方式

認証方式

ID/パスワード
証明書認証
ワンタイムパスワード
統合Windows認証
OAuth/OpenID Connect
WS-Federation
端末制限認証
リスクベース認証
FIDO U2F認証

アクセス制限

IPアドレス制限
ユーザ・グループ単位での制限
時間帯による制限

その他便利な機能

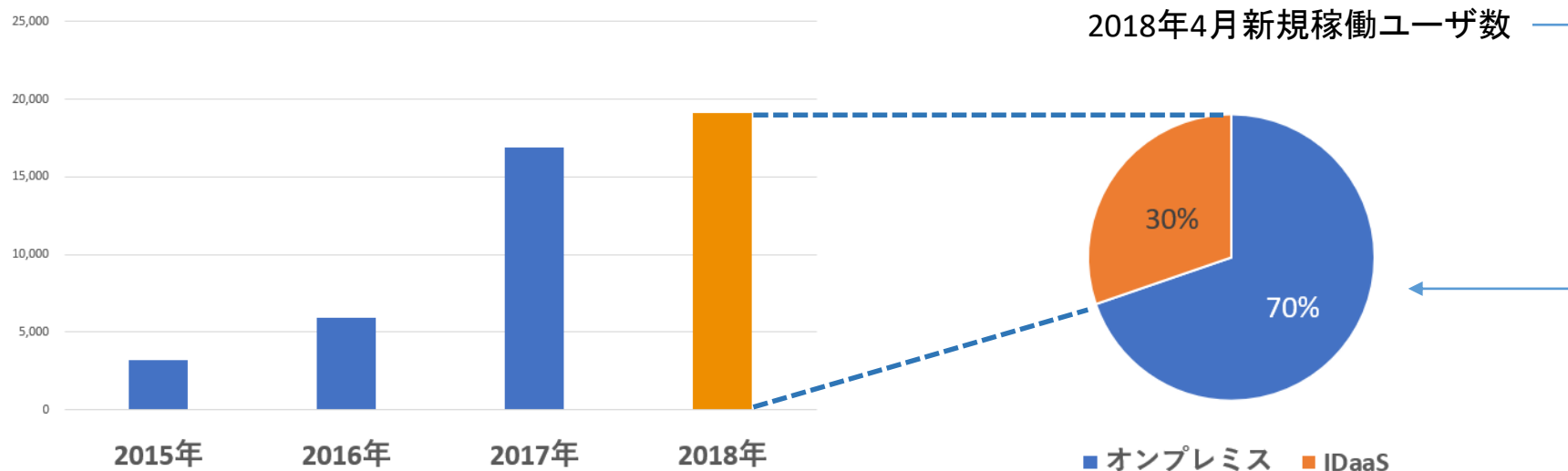
統合ID管理機能
パスワードリセット機能
SSOポータル

SeciossLinkからオンプレミスのAD/LDAPに対して情報を同期
ユーザ自身が登録したメールアドレスにパスワードリセット通知を送付
ユーザ専用のポータルサイト

SECI  SS LINK

アップデート情報

ユーザ数の推移（文教のみ）



- ▶ ユーザ数は毎年増加してはいますが、オンプレミス環境での利用が（特にID管理製品は）まだまだ多い状況。
- ▶ 各大学によって、IDライフサイクルが異なるため、IDaaSでは表現が難しい（カスタマイズが難しい）こともオンプレミスを選択する要因の1つか。

学認メタデータの署名検証

- ▲ フェデレーションメタデータ署名検証の自動化
 - ▲ サービス側で定期的にメタデータをダウンロード
 - ▲ メタデータの署名検証実施
 - ▲ 利用者の各テナントへ自動的に反映
- ▶ 利用者は署名用証明書の変更に伴う対応が不要になります。

学認SPのテンプレート化

- SP登録の手間を省くため、学認SPをテンプレート化
- 使いたいサービスを一覧から選択する（現在開発中）

						admin	ログアウト
ユーザ 組織 セキュリティグループ シングルサインオン シングルサインオン SAML IDプロバイダ 設定 SAML IDプロバイダ SAMLサービスプロバイダ WS-Federation OAuth コンシューマ OpenID Connect クライアント Google Apps Office 365 cybozu.com Salesforce リバースプロキシ 代理認証 認証 アクセス権限 システム ログ	☐	2	GakuNinMoodle	学認連携Moodle講習サイト	https://security-learning.nii.ac.jp/shibboleth-sp	🔗	🔗
	☐	3	IchushiWeb	医中誌Web	https://upki-sp.jamas.or.jp/shibboleth-sp	🔗	🔗
	☐	4	FileTransferService	ファイル送付サービス	https://sp1.db.kanazawa-u.ac.jp/shibboleth-sp	🔗	🔗
	☐	5	CambridgeJournalsOnline	CambridgeJournalsOnline	https://shibboleth.cambridge.org/shibboleth-sp	🔗	🔗
	☐	6	CINii	CINii	https://register-ci.nii.ac.jp/shibboleth-sp	🔗	🔗
	☐	7	LaboratoryResearchYamagata	科学技術学術情報共有サービス（山形大学）	https://c.yz.yamagata-u.ac.jp/shibboleth-sp	🔗	🔗
	☐	8	EduroamShib	eduroam用テンポラリアカウント発行サービス	https://eduroamshib.nii.ac.jp/shibboleth-sp	🔗	🔗
	☐	9	GakuNinRegistrationSystem	学認申請システム	https://office.gakunin.nii.ac.jp/shibboleth-sp	🔗	🔗
	☐	10	HINETAuthService	HINETゲスト認証サービス	https://hinet-sp.hiroshima-u.ac.jp/shibboleth-sp	🔗	🔗
	☐	11	JapanknowledgeLib	ジャパンナレッジLib	https://auth.japanknowledge.com/shibboleth-sp	🔗	🔗
	☐	12	KanazawaDataRepository	金沢大学データリポジトリ	https://sp2.db.kanazawa-u.ac.jp/shibboleth-sp	🔗	🔗
	☐	13	KenkyushaKOD	研究社KOD	https://kod.kenkyusha.co.jp/shibboleth-sp	🔗	🔗
	☐	14	NIImeatwiki	NIImeatwiki	https://meatwiki.nii.ac.jp/shibboleth-sp	🔗	🔗
	☐	15	NikkeiBPSearchService	日経BP記事検索サービスアカデミック	https://bizboard.nikkeibp.co.jp/shibboleth-sp	🔗	🔗
	☐	16	shibosuke	しほすけ	https://shibosuke.net/shibboleth-sp	🔗	🔗
	☐	17	InformaticsSquare	情報学広場	https://idp.ixsq.nii.ac.jp/shibboleth-sp	🔗	🔗
	☐	18	TIESSharingSite	TIES共同利用サイト	https://www.tieskun.net/shibboleth-sp	🔗	🔗

パスワードポリシー 機能追加

- ▲ パスワードを定期的に変更しない運用が普及
- ▲ 複雑なパスワードを設定させる機能を追加
- ▲ 利用していないアカウントの不正利用を防止したい。
- ▲ 一定の条件でアカウントの一時停止や削除機能を追加

【パスワードポリシー機能】

The screenshot shows a web-based configuration interface for password policies. The left sidebar contains a navigation menu with items like 'ユーザー' (Users), 'グループ' (Groups), 'パスワードポリシー' (Password Policy), and 'システム' (System). The main area is titled 'パスワードポリシー設定' (Password Policy Settings). It includes sections for 'パスワードの構成' (Password Structure) with fields for minimum and maximum length, 'パスワードの強度' (Password Strength) with checkboxes for complexity requirements, and 'パスワードの管理' (Password Management) with settings for expiration and rotation.

【使用禁止属性の設定】

使用禁止属性

☐ ユーザID ☐ 社員番号 ☐ 氏名 ☐ 別名 ☐ メールアドレス ☐ 通知用メールアドレス ☐ 電話番号
☐ FAX ☐ 携帯電話番号 ☐ 自宅電話番号

名前（アルファベット）、メールアドレス、ユーザIDなどの属性値をパスワード文字列に設定させない。

【ログインが無いアカウントの自動制御】

最終ログインからの経過日数による制御

削除 日後

停止 日後

警告 日後

追加

最終ログインから一定期間経過後に警告通知やアカウントの停止、削除までを自動的に行う設定が可能。

ISMSクラウドセキュリティ認証

- ▲ 2017年6月から準備を開始
- ▲ 2018年5月に審査完了。
- ▲ 2018年6月取得



CLOUD 686962 / ISO 27017
IS 686961 / ISO 27001

■ ISMSクラウドセキュリティ認証とは？

(ISO/IEC 27001) 認証を前提としてクラウドサービスの情報セキュリティ規格
(ISO/IEC 27017) を満たしている組織を認証する仕組みです。

ご清聴ありがとうございました。



<http://www.secioss.co.jp>